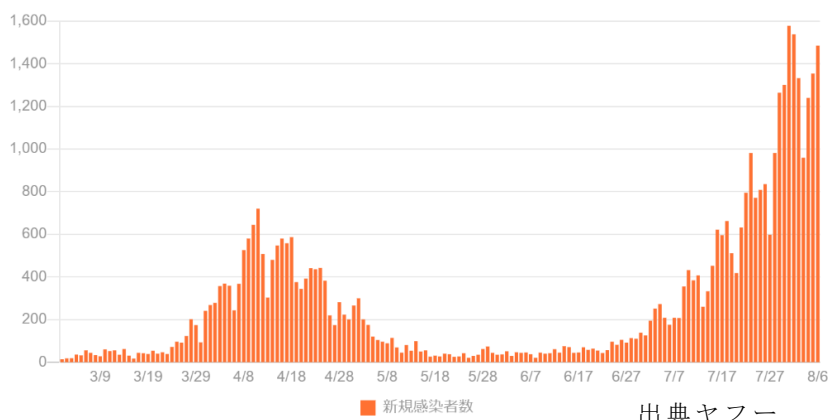
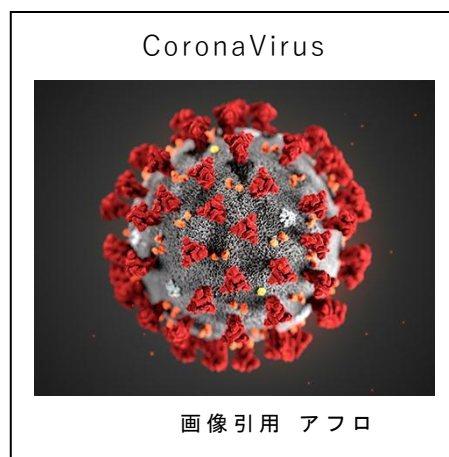


# ているらんぷ

第14号(2020年8月発行)



## 新型コロナ退散祈願



### <掲載内容・特集>

\* 数字は入学年度(敬称略)

- |       |         |                                    |
|-------|---------|------------------------------------|
| 2頁    | はじめに    | : 68年佐々木                           |
| 2~19頁 | 会員からの寄稿 | : 戸部、岡崎、佐々木、三木、中野<br>島、小西、河本、坂巻、山崎 |
| 19頁   | 部活動の状況  | : 現役 平原                            |
| 20頁   | 編集後記    | : 68年佐々木                           |

## <はじめに>

編集担当 佐々木 (1968年入学)

新型コロナウイルス感染の拡大は先が見えない状況が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

本来ですと「ているらんぷ第14号」は「第8回総会特集号」として発行する予定でしたが、昨今の情勢の中で、今年の総会は会員の参集のもとでの開催を中止し、メールによる議案の配信とその返信による決議で行われ、過日その結果が当会ホームページ上で報告されたところです。又、同時に行われていた会員同士の貴重な懇親の場である「懇親会」も無くなってしまいました。

そこで、懇親会に代えて「ているらんぷ誌上」を通じて会員の皆さまの近況を報告しあっていたらと今号を編集いたしました。

特に、今回のコロナ禍での会員の皆さまの歴史的な体験を記録に残しておくことは、私たち自身はもとより、後輩の皆さまにも意義深い事と考え、テーマを「自動車部員の新型コロナウイルス時代・・・私たちは今回の新型コロナウイルス感染拡大に直面してこの半年どう過ごしたか」といたしました。是非じっくりとお読みいただければ幸いです。

## ＝コロナ耐久戦略＝

戸部(元 コーチ、監督)

コロナの感染力、半端ないですね。未だに世界中が苦しめられています。私も相当ストレスが上がりました。私のストレスの現状と対処法をご紹介します。

まずストレスの状況です。私の趣味は以前にも書きましたが、一番がライフルの射撃です。東京都内には火薬の銃を撃てる射撃場はありませんので、射撃をしようと思えば県境を越さなければなりません。2番目と3番目は山道ドライブと富士山の写真撮影で、これも県境を越さないとできません。富士山に一番雪があって美しい写真が撮れるのは3月と4月です。従って、6月19日の県境通過解除以前は、私の趣味は全滅！

外出自粛の日々が長くなると、自分の中でストレスが上昇しているのがわかりました。それで本題のコロナストレスの対処法ですが、主に読書でした。私は1,2年前から江戸時代の科学技術に関心があり、今回の巣ごもりで、本を読んだりインターネットで調べたりする時間がたっぷりあったのは不幸中の幸いでした。

江戸時代の科学技術の素晴らしさは、調べれば調べるほど驚愕の連続です。感激に浸って、ハッと気づくとコロナのストレスが消えていました。これでストレス解消法の話は終わりということになりますが、これではちょっと味気ないので、私が感激したネタを2,3紹介します。

まず総論から。

「人形」、今風に言えばロボットです。お茶を運ぶ人形、矢を射る人形、漢字4文字を描くことのできる人形、当時はまだ電気はありませんでしたので、完全な機械的メカだけです。動力はゼ

ンマイで、クジラのひげを用いたそうです。漢字 4 文字を描くことができる人形は、現在の東芝の元となった田中商店の創業者、田中久重さん作です。田中久重さんの最高傑作は「万年時鳴鐘」でしょう。これについて詳しく書くと膨大な量になってしまいますので、是非ネットで検索してください。田中久重さんを「東洋のエジソン」とかいう人がいますが、エジソンなど、特に学問的な深さで、足元にも及ばないくらいの存在ではないかと私は思います。

庶民の知的レベルの高さも特質ものです。当時の識字率は世界一と言われていています。江戸時代の庶民の娯楽の一つが数学だったということも驚きです。数学だけを教える寺子屋もあったそうです。和算も発達しました。円周率  $\pi$  は 41 桁まで計算されています。

そのほか、世界で初めて全身麻酔によって外科手術を成功させた華岡青洲、伊能忠敬、玉川兄弟のような高度な測量技術、枚挙にいとまがありません。

次に各論です。火縄銃、玉川兄弟の測量、蒸気船製造について簡単に触れます。

鉄砲が種子島に伝わったのは 1543 年と言われています。種子島の藩主が 1000 両と言う超高額な値段で 2 丁の火縄銃をオランダの商人から買いました。そして藩内の鍛冶屋にこれと同じものを作れと命じます。

最初は苦戦したようですが、2,3 年後には購入した火縄銃より高性能な銃を作って、オランダの商人を通じて外国に輸出していたそうです。鉄砲の威力は瞬く間に日本全国に伝わり、大阪の堺、和歌山県、岐阜県などに鉄砲鍛冶が生まれ、特に堺では早期に量産技術を確立して、10~20 年後には日本に 10 万丁の鉄砲があったとされています。15 万丁という説もあります。

火縄銃は正式名称を「前装銃」と言います。前から火薬や弾頭を詰めるからでしょう。前装銃射撃大会なるものがあります。世界大会もあるそうです。世界大会に出場する何人かの外国の選手は、江戸時代の日本で作られた火縄銃を使っているとのこと、もちろん性能が良いためでしょう。

江戸中期から後期にかけて活躍した銃作りの名人、国友一貫斎は多種多様な火縄銃を作りました。空気銃も作りました。銃身に照門と照星を付けたのは日本が最初らしいです。リボルバー式の拳銃のようにカートリッジを束ねて火薬、弾頭を素早く装填できる火縄銃も作られました。日本人は何を作っても素晴らしいものを作る、誇らしいですね。

次は玉川上水の経路を測量した玉川兄弟。羽村の取水口から四谷までの平均勾配は 1km で 2m とのこと。当時、ポンプはありませんでしたから水を流すためには勾配だけが頼りです。玉川兄弟は正確な測量でそのルートを決めました。私が驚くのは玉川兄弟の出自がわかっていないこと、さらに高度な測量技術をどこで習得したかもわかっていないそうです。

私のような凡才は何かをするとき人に教わったり、自分で勉強しなければできません。しかし、天才は教わらなくても勉強しなくてもできる、玉川兄弟はそのような天才だったのでは？ 私の感想です。

余談ですが当時の江戸は浄水、下水が完備していて、世界一清潔な都市だったそうです。また水道料はただでした。

江戸時代の末期になるとさすが鎖国 260 年の弊害が現れます。その例が黒船ですね。帆船しかなかった日本に蒸気船が現れ、日本人は度肝を抜かれます。しかしです、度肝を抜かれたままで終わらないのが日本人です。幕末のころ、3 藩が独自に蒸気船の製造に成功しています。

その中でとくに有名なのが四国の宇和島藩の蒸気船製造です。これもインターネットで多くの記事があります。提灯を作って生計を立てていた嘉蔵という職人が単に器用だと言うだけの理由で、藩主から蒸気船を作れと命令されます。ネットや本の記事によると、即座に引き受けたという話といやいやながら引き受けたという両方の話があります。嘉蔵さんは全くの無学だったようですが、不眠不休の努力で、蒸気機関を完成させます。長崎まで蒸気船を見に行っただけという説もあります。ただの提灯屋が蒸気機関を見て、その機構を理解し、作り上げた。その能力を考えた時、ただただ驚愕あるのみですね。船大工が船を作り、彼の蒸気機関を載せて蒸気船を完成させました。彼はその功績によって、藩士つまり武士になりました。本名は前原嘉蔵さんです。

日本は明治以降急速に国力を付け、欧米諸国と並びましたが、江戸時代に嘉蔵さんレベルの能力を持った人が大勢いたことがその原動力になったのではと私は考えます。

結論、日本人は凄い！

## ＝暇にまかせてやったこと＝

岡崎(1968 年入学)

怪しいウイルスが中国で発生したというニュースを初めて聞いた頃から随分経過し、何か不安と、いろいろな計画をどうしようと悩みながら過ごしてきたようで、あまりこれといった成果が無かった様な気がします。

ニュースやワイドショーを見るのが生活の中心になっていて、なかなかそのサイクルから抜け出しが出来ませんでした。その中でも出来た事を書いてみました。

## \*\*家庭菜園\*\*

住んでいる所が住宅街がちょうど無くなるあたりで、すぐに畑が周りがあるので、最近では農家の方も無人販売所をあちこちに設置され、朝の散歩かたがた買いに来る人が多い。その様なところなので、近所の農家の畑を借りて家庭菜園を 20 年以上やってきた。今年は時間があるので午前中を畑で過ごす事が多くなった。冬を越させた豆類やニンニク、玉ねぎなどの除草や追肥もなど面倒を見られた。特にソラマメが虫や病気にも会わず、豊作でこんなに食べた事が無いという程採れた。夏野菜の準備も丁寧に出来た。

ところが、3 月に契約更改というか地代を払いに行こうとしたら、土地を売るので地代は不要、ただし 12 月末に返却してくれと言われた。この農家は、先代のおやじが早く亡くなり、お袋さんも 5 年ぐらい前に亡くなって長男が相続したが、農業は継がないので売却に踏み切ったようだ。2.7ha ぐらいはあるのが今後どうなるのかは不明。

5 月に入って裏(駅から遠い方)の農道を散歩していたら畑作業をしている人がいたので、ふと思いついて「この辺で畑を貸してくれる農家はありますか」と尋ねたところ、本家で開いている所があるから聞いてみようかと言って電話してくれた。畑の場所も手を休めて案内してもらい、ま

た本家の電話番号も教えてもらい、電話を改めてしたところ、近くの人に借りてもらえるならと、貸してもらえることになった。こんなに早く借りられるとは思わ無かったので、ほっとした。8月から借りる事にしたので、移転計画を立てたり掛け持ちの作業になるのでこれからが大変。

### **\*\*修理・工作\*\***

家の修理は今までも屋根からの漏水を止めたり、水栓の交換はしていた。今回は呼び鈴をカメラ付きのインターホンに交換した。今までは外の押しボタンを押すと内部のチャイムが鳴る古いタイプで、誰が来ているか判るようにしたいという要望に合わせた。配線は壁の中に隠蔽されているが、調べたところそのまま使用できるようなので、屋内の延長と外部の押しボタンとカメラの交換で簡単だと早速購入。外の子機は顔が見えないと機能しないので、高さを測ったら女性ならよいが、ちょっと背が高い人だと視野から外れそうなので上に設置することにした。外壁の穴をあけたり電線を引き直したり、家の中はドアのへりに沿わせることにしてなんとか設置した。録画機能があるので、外出中の来訪者も記録され、便利だなと感心した。これは2日で出来た。

修理ではないけど、包丁が切れなくなったので研ぐにはちょっと正しいやり方を調べた。やはり砥石が平ではない、切っ先が直線的になっていて研げていない、片刃と思っていた果物ナイフが両刃だったなどほかにも細かい所で自己流でやっている事が判明。砥石を台直し砥石で根気よく平らにした。これはかなり時間がかかった。中目と仕上げの2面で一時間以上かかった。包丁2本は切っ先の部分を良く研ごうとするが、曲線を研ぐ要領が分かるのに時間がかかった。果物ナイフ2本は両刃なので、同じ角度に仕上げるようにするのは意外と大変、片方は片刃と同じ様にすればいいわけだが、反対側を同じ角度を付けて研ぐわけだけど、柄が反対側になってしまうので、慣れるまで力がうまく入らなかった。

3時間ぐらい格闘して何とか研いだ。結果は良好でよく切れる様になった。玉ねぎを切った時スパッと切れるので気分が良かった。その後TVで道場六三郎さんがよく切れる包丁で調理すると楽しいといていたが、レベルは違うが気分は判ったような気がした。

### **\*\*ドライブレコーダー\*\***

危険運転とか煽り運転などのニュースが飛び交っているなか、私は軽自動車に乗っているのでぶつけられたら怖いなと思い、ドラレコを取り付ける事を思い立った。

機種選び、価格.com、比較しているホームページ、イエローハット、オートボックスで評判と価格を確認し購入。設置方法はオートボックスの店員に詳細を聞き、更に車を買ったホンダで内装の外し方や線の経路、注意点を教えてもらった。ここまでで3日。

リアカメラの配線はドア上部に埋め込むがこれはクリアー、リアのドアに配線を渡らせるためゴムのブーツを通すがそのままでは線が通らない。シリコンオイルをつけて通したら難なく通った。リアカメラとフロントカメラを繋げる配線はワンボックスでも使用できる長さがあり、余った線を束にして押し込むのも大変だった。作業は2日かかった。

結構楽しめた。それにしても配線されている電線は昔と比べると細い、線の数も多いので極限まで細い、ヒューズも小さい、ヒューズボックスが3か所もあつたりと最近の車の仕組みにびっくりする事が多かった。

- ① 恰好のライフワーク「野菜作り」
- ② 月2回の北鎌倉・円覚寺通いが一変
- ③ 地域の仲間と一步を踏み出し始めた新しいオンラインの世界

① 恰好のライフワーク「野菜作り」

会社をリタイアして真っ先に始めた「野菜作り」も10年目に入りました。今回の外出自粛で畑での時間をたっぷりとれるようになり、私のライフワークの大きな柱になっています。毎日、朝食前の2時間と夕食前の2時間が私の野菜作りの時間です。借りている2か所の畑はどちらも家から歩いて5分足らずのところであり、適度な運動で気持ちの良い汗を流しています。これまでと違って時間に追いかけることもなく、心行くまでのんびりと大自然を相手に戯れています。

家庭菜園ですので、「多品種少量生産」をめざし、常時約20種類程度の野菜を育てています。今年は例年より丁寧に手入れができているせいか、収穫も好調で、この10年間で最も手ごたえが感じられ大満足しています。

収穫した野菜の大半は、子供たち、兄弟等の親戚、地域の仲間たちに食べてもらうよう、遠方の方には宅急便で、近隣の方には愛車のアクアを走らせて定期的に届けています。野菜作りがきっかけで、親しい方々との触れ合う機会が増えたことは、野菜作りの嬉しい副産物になっています。

② 月2回の北鎌倉・円覚寺通いが一変

この20年間、毎月第2・第4日曜日の朝、北鎌倉・円覚寺で行われている「日曜説教会」に通っていました。朝8時の開門と同時に境内に入り、ゆったりとした気分で散策していると、四季折々の風景が目を楽しませてくれ、私の至福の時間でした。

ところが、今回のコロナ騒ぎで様子が一変しました。円覚寺・方丈で行われていた日曜説教が中止となり、朝の散策の楽しみはなくなってしまいましたが、その代わりにネットを通じたオンラインによる様々な配信がほどなくして始まりました。「日曜説教会」は、まずビデオの動画の配信がスタートしましたが、しばらくして、より臨場感を出すためにユーチューブを利用したライブ配信に代わり、多くの方々と一緒に同時に法話を楽しめるようになりました。この他、円覚寺のホームページには毎日のように「管長の今日の言葉」、「オンライン座禅会」、「オンライン写経会」等、様々なメニューが配信されています。これまで私の円覚寺の時間は月2回の日曜説教会の時のみでしたが、オンライン配信の登場で禅と触れ合う機会が飛躍的に増え、毎日の私の生活の中に禅の心が従来以上に染みわたってきているように感じています。

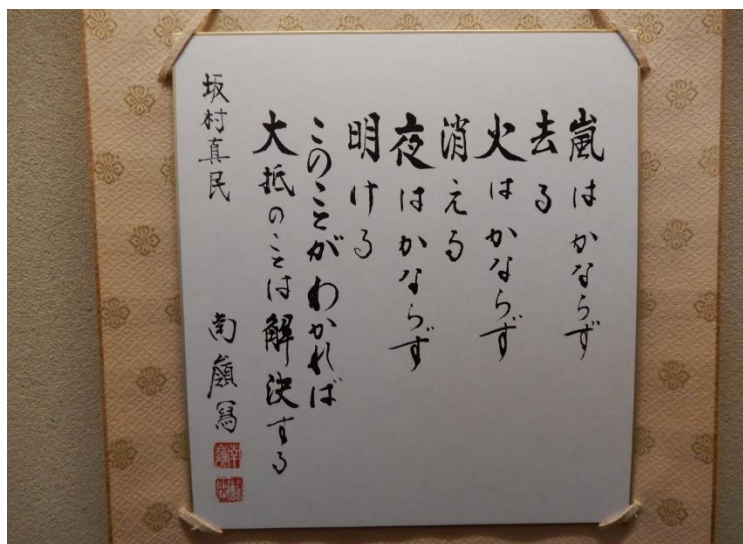
③ 地域の仲間と一步を踏み出し始めた新しいオンラインの世界

6年前から地域の仲間づくりの企画である「男のセカンドステージの生き方を探る」という講

座に参加し、年 7 回程度の講座を楽しむと共に、それを主催・企画する「いずみの会」という親睦会の一員に加わるようになりました。

ところが、今回の騒ぎでこの講座が中止となり、目下ウィズ・コロナ時代に相応しい新しい活動体制づくりを模索しています。25 名のメンバーの平均年齢は 70 歳代後半、80 歳代の方も多くおられる中で、まず「Zoom」、「ライン」、「同報メール」等、会員相互の情報交換ツールの勉強会から始めました。その第一歩として、比較的ネットの世界に慣れているメンバーが手始めに「オンライン飲み会」、「ラインを使った情報交換体制」を立ち上げてみて、徐々に全体のメンバーを巻き込んでいこうと試みています。

私自身もこのネットの世界には興味はありますが、苦手な分野でもありますので、この機会に踏み出して皆さんと一緒に楽しめるようにと腰を上げ、まず「Zoom」のアプリをダウンロードして、次のステップを待っているところです。



円覚寺・横田南嶺管長の色紙

### ＝パッションフルーツの栽培＝

三木（1967 年入学）

会社の定年を機に 10 年ほど前から庭の端を使って家庭菜園を始めました。テレビ番組を参考にして当初は色々な野菜の栽培を試みましたが、最近では体力・気力の衰えもあり手がける野菜も少なくなってきました。その中で 6 年ほど前から続けているパッションフルーツの栽培が今年には順調ですので、その紹介をしたいと思います。

パッションフルーツはトケイソウの仲間の多年草で、時計の針のような 3 つの雌しべを持った華やかな花（写真 1）が咲き、結実（写真 2）すると最終的には外皮が赤紫色で楕円体の果実（写真 3）となります。果実は半分に切って中身を種ごと食べますが、甘酸っぱい味がします。

花は、残念ながら 1 日しか咲いておらず、朝咲いて次の日の朝にはしぼんでいます。また、確実に結実させるためには人工授粉が必要で、今年は 5 月中旬に最初の花が咲き始めてから最後の花が咲き終わるまでのほぼ 1 ヶ月間は、次の作業が日課となりました。

- 1) 毎朝、開花状況を確認。よく確認しないと葉に隠れたものを見落としてしまうことあり。
- 2) その日の天気にもよりますが、受粉しやすい午後1～2時頃にピンセットで雄しべを外し、雌しべの先端に花粉を擦り付けて受粉させる。
- 3) 収穫時期の目安を得るため、受粉した日付を記載したラベルを各々の花に取り付ける。

その後も毎日の水やりや定期的な追肥を行い、努力の甲斐があつて8株で100個強の結実がありましたが、大きく実ったものがある一方で小さい実のまま成長が止まったものなど様々です。

今年は長梅雨の影響で日照時間が少ないせいも、完熟までにいつもより日数を要し、また、味にも影響しているかもしれません。先日スーパーで鹿児島産の果実を見かけました。それと比べるとさらなる努力が必要のようですが、収穫時期を迎え今から楽しみです。



写真1



写真2



写真3 収穫間近

## =新型コロナウイルス時代・2020年7月までの記録=

中野(1968年入学)

### 1. <海外旅行>

コロナのスタートはクルージング船で始まりました。私は4月出発のクルージング船ツアーを昨年から予約していましたが、親の健康が心配になりキャンセルしました。クルージング船の怖さを知り、止めて正解でした。次回の海外旅行は全く目途が立たなくなってしまいました。

### 2. <趣味>

カラオケをうまくなりたくて近所のボーカルレッスンに月2回通っていたのですが、感染したら怖いので3月から中断しました。毎年10月には杉並公会堂で発表会があるのですが、今年はないことにしました。もう一つ、デッサンも習っていたのですが2月から中止になりました。

### 3. <コンサート>

2016年に八神純子のファンクラブに入り、年初には今年のコンサートの予約をしていましたが、5月以降のコンサートは中止になり10月のコンサートがまだ決まっていません。7月に



はネットライブが 2 回ありましたが、ピアノとギターと 3 人で無観客なので盛り上がりの少ないコンサートでした。コンサート関係者は仕事が全く無くなっているので応援のために 2 回 6000 円のチケットを購入しました。10 月のコンサートを楽しみにしていますがどうなるかわかりません。

#### 4. <志村けんさん>

3 月 29 日に突然亡くなり親族が臨終にも立会えずお骨も拾えないというのには衝撃を受けました。実家が東村山で自宅が三鷹と近く、年令も近く何か身近に感じられる方でした。私は死ぬ時はみんなに「ありがとう」を言おうと思っていますので、コロナでは死にたくないという思いを強くしました。これ以降、井の頭公園の散歩も止め不要不急の外出はせずに家にいることが多くなりました。

#### 5. <吉祥寺のコロナ>

3 月下旬になり近所に住んでいる宮藤官九郎さんが感染し、同じ頃に近所の人々が感染し、一気に緊張感が高まりました。外を歩くのも怖くなりました。というのもこの頃になるとコロナの様子が分かってきて基礎疾患のある人が重症化し易いということが言われ、私は気管支喘息、かつ鼻耳の難病のためステロイド剤で炎症を抑えている状態で、かつ脳梗塞をやっており 3 つも疾患があるので感染したら死んでしまうと思い、家から出ないでコロナ禍が通り過ぎるのを待つことに決めました。

#### 6. <マスク品切れ>

3 月頃から吉祥寺ではマスクが品切れになりました。私は数年前から関東大震災や富士山噴火に備えてマスク、水、食料品、トイレトペーパーを備蓄していましたので問題なく、子供達に分けてやることもできました。地震と噴火は近くありそうなので気を付けています。

#### 7. <ケーキ教室>

娘が昨年 6 月から私の部屋を使ってケーキ教室を始めていますが、コロナのせいで教室を開くのが難しくなり、3 月に急遽オンライン教室をスタートしました。集客は全て SNS を使っており、シンガポールからの参加もあり世の中の進歩を実感しています。その前にもタイからケーキ教室に吉祥寺まで来てくれた方がいました。起業コンサルタントもやっていて神奈川や奈良の方も指導しており、もう私の感覚を超えています。6 月からは教室を再開し飛沫感染対策のビニールやアクリル板、ウイルス対応の空気清浄機を入れ万全の対策を取ってやっています。

#### 8. <レストランの閉店>

吉祥寺を代表するレストラン 2 店が閉店しました。5 月に井の頭公園横にあるフレンチの「芙蓉亭」と、7 月に黒毛和牛レストランの「葡萄屋」です。どちらも歴史がありベテラン従業員もいてランニングコストも大きく、コロナで客が急に止まった途端に経営が厳しくなっ

ったようです。この 2 店はテレビやスマホのニュースにも載りました。その他の小さいお店は出歩いていないのでよく分かりません。

#### 9. <寄付>

我が自動車部 OB&OG 会をはじめ気持ちだけの寄付はして来ましたが、今年はコロナ給付金が家内と合わせて 20 万円も入ってきましたので、今までで最高の 5 万円を医療関係者に寄付させて貰いました。今まで生きてきた罪ほろぼしと、コロナに感染しないようにとの願いを込めて寄付しました。自動車部には今年の OB&OG 会がありませんので 1 万円を寄付させて頂きました。その他、九州豪雨災害義援金に 1 万円を寄付。寄付は徳を積んだことになるそうですのでこれで天国に行けると良いのですが？寄付をすることは自己満足でしょうが、老いて人の役に立つというのは幸福なことです。

#### 10. <コロナ世界恐慌>

世界経済が大きなダメージを受けていて、近い内に世界恐慌が発生するのではないかとされています。そうすると銀行などの金融機関が倒産したりするので現金を持っていると危ないとか、ハイパーインフレが発生して貨幣が目減りするとかされています。そこで老後資金が減らないように保有している現金で物を買って、預金を極力減らしました。そして相続で揉めないように遺書も書きました。

#### 11. <テレワーク社会>

長年吉祥寺は住みたい街の No.1 になっていますがこれからはテレワークの促進が言われており都心から地方への動きが出るとも言われています。思い出すと首都移転計画もありましたが今はどうなったのでしょうか？湾岸エリアには超高層マンションが立ち並び、ここにいる人達が地方に移るとは思えません。来年の住みたい街 No.1 はどこになるのでしょうか？

#### 12. <アフターコロナ>

コロナ禍を無事通過できれば医療の進歩のお陰で恐らく 100 歳時代が待っています。義理の両親も二人とも 90 歳台で、100 歳まで行けそうです。私もこれまでは 84 歳を目標にしてきましたが 100 歳も考えないといけないと思っています。私は 3 つの基礎疾患があるので細く長く人に迷惑を掛けないように死ぬまで元気でいたいと思っています。

#### 13. <最後に>

我々は二十歳頃の多感な時代に自動車部での出会いがありました。本当に人との出会いは不思議で何かの力で出会うことができました。先生との出会いもありました。それが今まで何十年も続いています。運命を感じます。そしてお互いに元気で話せることは本当に運が良くて幸せなことです。皆さん特に幹事の方に感謝とお礼を言いたいと思います。吉祥寺に 2015 年に引っ越してきてから多くの新しい良き出会いがありました。ケーキ教室にもパワーを持った方が次から次へと集まってきてくれます。何か見えない力を感じています。もちろん

神社へのお参りも欠かさないようにしています。目に見えないパワーはあります。運命の出会いを大切に運を大切にしたいと思っています。



2019年10月杉並公会堂にて、歌は「糸」 2020年3月26日井の頭公園の「お花見」

**＝自動車部員の新型コロナウイルス時代・・・私たちは、今回の新型コロナウイルス感染拡大に直面したこの半年、どう過ごしたか＝** 島（1968年入学）

人類未知・未経験の感染症が中国武漢からあっという間にパンデミックとなり、日本にも感染の波が押し寄せてきたとき、何とも言えない不安と緊張を感じました。

私は検査員として工場のある尼崎へ行きます。2月から会社も社員の出張を制限し、4月7日の緊急事態宣言で仕事はなくなりました。5月25日に緊急事態宣言が解除されると仕事も復活し、尼崎へ行きました。大阪市内の電車、デパートなどは結構混雑していました。滞在中はスーパーやデパ地下のお弁当やお総菜を買ってホテルの自室で食べました。マスクを着用し、アルコールスプレーを持参し、自分の手や机などを消毒し、最近厚労省の「新型コロナ接触確認アプリ」のCOCOAをスマホにインストールしました。

今年の2月に、歩いて7～8分の所にあるサポート付きのシェア畑を借りて家庭菜園を楽しみ始めました。散歩がてら土いじり・有機野菜を楽しむということで、“三密”のない環境。同年代の人々の中には農家顔負けの成果を上げている方が多いようですが、私は全くの初心者ですから、指導を受けながら土作りから野菜の種播き、収穫と勉強中です。野菜作りを始めるようになり、今まで以上に天気を気にしています。

先日ニンジンの種を播いた後に雨が降り、畑を見に行くと小さな芽が出ていました。これだけでも、何か嬉しさを感じます。

新型コロナ緊急事態発出下の生活では子供たちも自粛生活となり、私を含めて3人が自宅

でリモートワークを経験しました。インターネット光ケーブルですが古いマンションなので、受信ボードから部屋まではメタルケーブルのために通信速度が追いつかずイライラを感じました。また、一人はビデオ会議をするので話が聞こえ、自分まで会議に参加している気分でした。在宅勤務にはそれなりの設備と部屋が必要ですね。宣言解除後は、子供たちは出勤しています。

妻と一緒に過ごす時間が増えましたが、妻は趣味の出歩きがなくなったために読書をしています。私がテレビをつけるとうるさいと言います。私は手元スピーカーを購入し、イヤホンで音声を聞いています。加齢で聴力が低下してきており、ちょうど良い機会でした。

こんな折、友人とのLINEでの交流はありがたい手段です。

3月まで通っていたスポーツジムが再開し、週に1回のペースですがジム通いを始めました。体を動かすとスッキリして気持ちが良いです。

今は感染拡大の第二波に突入していますが、新しい”With Corona”の時代の新しい生活(New Normal)で新しい発見があることを楽しみにしています。



2020年7月 シェア畑にて

＝ついに、スマホデビュー！！＝

小西(1967年 入学)

10年程使ってきたガラケーをスマホに替えた。

大分前から「早くスマホに替えた方がいい」と周りから言われていたが、退職して仕事を離れ、旧友や趣味仲間との連絡メールはパソコンで行い、家族間のメールや電話はガラケーで十分だった。

そのガラケーがバッテリー関係の故障で突然動作しなくなった。

既に昨年末から「一部機能が使えなくなるため、早めにスマホへ切り替えるよう」と携帯電話会社から催促されており、これを機に家内のガラケーと併せてスマホへ切り替えることにした。

6月下旬の午後、予約していた府中の店へ行き、機種変更をした。

初めてなので、店員に勧められたシンプルスマホ(富士通製 arrows U)に決め、家内と色違いで同じ機種を購入した。初めて手にしたスマホは思ったより重かった。

直ぐに買えるかと思ったが、スマホの購入手続き、新規登録およびガラケーからのデータ移行で結構時間が掛かった。(2台で2時間半ほど)

諸手続きが済み、ごく初歩的な使い方(メール、電話のやりとり)を教わり、店を出たら外はすっかり暗くなっていた。

詳しい使い方は初心者講習会があるとのことで、受講を予約した。

最近の AI 製品には簡単な説明書しか付いていないため、インターネットで取説を見つけ、操作方法などいろいろ調べた。しかし取説を読んだだけでは分からない点多々あり、疑問点をメモしておいた。

3日後に購入店で開かれたスマホ初心者講習会に参加した。当日の参加者は家内と2人だけなのでマンツーマンでの受講になった。スマホアドバイザーの資格を持つお姉さんに更に便利な使い方を教わり、メモして行った幾つかの疑問点も聞くことができた。

この講習会では、スマホ特有の「文字入力」や「音声アシスタント」を教えてくれた。

文字入力:

例えば「お」を入力する時、ガラケーでは「あ」のボタンを5回押したが、スマホでは「あ」の画面に触れると周囲に「い」、「う」、「え」、「お」が表示され、指先を滑らせるだけで「お」を選ぶことができた。これは便利で早い。

更に声で入力する方法もあると教えてくれたが、まだ試していない。

音声アシスタント:

これは更に便利な機能で、何か調べたいことがある時にスマホに話しかければ直ちに回答してくれる。

帰りの電車の時刻など「府中から多磨霊園までの時刻」とスマホに呼びかけると、瞬時に府中駅発京王線上り電車の時刻が表示され、おまけに所要時間、運賃も教えてくれた。

今まではパソコンの検索機能に頼っていたが、これからは音声アシスタント活用が増えるだろう。



この他、使ってみて便利と思ったのは「地図」と「天気予報」だ。

地図はパソコンでも利用していたが、スマホの場合はアドレス帳(連絡先)に住所が入力してあると地図上に表示される。これを見て、自宅周辺の趣味仲間(アマチュア無線、ソフトバレーボール)の家が分かるようになった。

ただし、この地図アプリは完璧ではないようで、100%正確には表示されない。

最近(と言っても10年ほど前に)宅地造成された所は表示されなかったり、工場敷地の一部を切り売りして建てたマンションは工場敷地内に表示されたりする。

天気予報も頻繁に利用している。今年の梅雨は長く、雨降りの日が続いている。ちょっと雨が止んだら次に降り出すまでの時間を雨雲レーダーで確認してから外出している。

まだまだ外出自粛が続いており、好きな旅行もここ半年ほど行ってない。コロナ禍が落ち着いたらスマホを手に観光地を巡ってみたい。行先の地図や名所旧跡の情報入手に活躍してくれるだろうと、今からワクワクしている。

買ってからまだ一ヶ月しか経っていないので、分からないことばかりだが、これから少しずつ使い方を覚えていきたい。

スマホにすると電話代が高くなると聞いていたこともあって切り替えをためらっていたが、こんなに便利な機能が満載しているならもっと早くにガラケーから替えておけば良かったと、ちょっと後悔している今日この頃です。

## ＝外出自粛生活＝

河本 (1970年入学)


2020年1月は昨年末に中国武漢で肺炎が広まりはじめ、日本に入港したクルーズ船に感染者が乗っていたというニュースをぼんやり見ていた。2月、3月は国内で感染の散発はあったものの、帰国者や外国人旅行者接触者の一部に限られ、限定的なものと思っていた。しかし私のまわりでは2月初めの飲み会を最後にどんどん飲み会キャンセルが始まり、外出をためらう雰囲気となり、マスクも2月からは入手困難となったので花粉症の私は使い捨てのマスクを洗って再使用を始めた。4月は東京地区は外出自粛となり、この機会にやることを考え始め、以下のような計画を立てた。

1. ジムに行けず、運動不足解消のため縄跳び
2. プラモデルの組立て
3. コンピュータプログラミングの勉強
4. 免疫力強化のために十分な睡眠
5. 左腕のリハビリを兼ねたピアノの練習
6. 読書

## 7. 部屋の片づけ

さて、実際にスティホームをしていると、数日で“何もしないこと”に体が順応してしまい、大半が計画倒れや、計画通りには進まなくなってしまった。

### 結果まとめ

1. 縄跳びロープはアマゾンで直ぐに入手出来、家の前で始めたが息切れと足に引っ掛かり 20 回も飛ばず。めげずに続けて 1 週間後には 100 回は飛べるようになった。しかし汗をかく前に息切れで苦しくなるので 1 か月も経たないうちに散歩に切り替えた。
2. プラモデルは 30 年前に買い、老後に組み立てようとずっと保管していたマクラーレンホンダ F1 の 1991 年仕様の V12 気筒エンジンです。自分が設計し、F1 史上最後のコンストラクタチャンピオンになった V12 エンジンで、タミヤから開発の担当者がホンダに来てエンジンの寸法を実測していった。私が立ち会っていて、一つだけお願いしました。『エンジン寸法は発表している数値と違うけど内緒にしておいて』。車体もあるのですが、今回はエンジン部分のみ製作。モデルはギヤボックスも一体でしたが、ギヤボックスはマクラーレンが設計したので金のこで切断し、パテで修正した。1/12 スケールですが、細かいところが良く見えず、老眼鏡+虫眼鏡が必須だった。
3. プログラミングは VBA の本をアマゾンで買って始めたが、好きになれず直ぐにあきらめた。しかし仕事でも多少知っていなければならない Matlab+Simulink は個人ライセンスなら安いと聞き始めた。本もアマゾンで買ったが使う前に入門編をオンラインで学習出来、何とかプログラムを読めるようになった。自分でプログラムが書けるようになるとは思えないが仕事に生かせるのでまあ成功。
4. COVID-19 はまだ治療薬が出来てなく入院したとしても直すのは自分の免疫と聞いたので、免疫力を維持するために十分な睡眠を心がけた。具体的には、朝のごみ出し日以外は(家内と分担)良く寝るといふことの徹底。そもそも起きてやる事が少なくなっているもので、7, 8 時間は寝ている。
5. 1 年前に痛めた左腕の筋肉治療で指を動かす筋肉のリハビリとしてピアノを始めて、なんとか“猫ふんじゃった”はマスター。しかし筋力はあまり戻っていない。楽譜がすんなり読めないのも、ピアノ以外の筋トレの方が効果的と思い、ピアノを弾く時間は大幅に減ってしまった。左右の指を別々に動かすというのはボケ防止にも良いと聞いたので何とか継続しよう。
6. 読書は、家に読みかけの本や購入した Kindle の電子書籍が溜まっているが、かなり進んで

いる老眼のせいか 5 分読んでいると目が疲れ、全く読めていない。

7. 部屋の片づけはそもそも終活でやる予定にしていたが早める必要があると思った。中古で売却できるものはメルカリやジモティーで売却し、驚いたことに安めの値段で登録するとほとんど半日以内に買い手が付いた。買い手は若い人が多く、おそらくスマホでしょっちゅうチェックしているのだろう。小遣いも稼げたし、便利な世の中になったものだと実感した。(部屋はまだすっきりしていない)
8. 追加項目;アベノマスクが届いて早速使ってみたが、噂通り小さくて使う気にはならなかった。市販のマスクも入手困難な時期だったので手作りすると決心した。得意のアマゾンで生地(デニム)とフィルター用不織布(共に日本製)、ゴム紐(これは中国製しかなかった)を購入した。今思い返すとこれに一番時間を費やした。デザインは基本形状 2 種類で、家族用にも作った。



これを書いている 8 月は、コロナがほぼ収まり、様々な活動を再開しているだろうと思っていたが第 2 波が押し寄せている真ただ中で、東京は連日 300 人前後の感染者が出ている。この先数年は以前と同じような旅行、宴会が出来ることはないだろうし、産業構造が変わって行くのだろう。若い人も自分の夢の軌道修正をしなくてはならない人が多く出てくると思う。我々高齢者は頂いている年金をどんどん使うことが世の中のお役に立てると信じています。

## = 新型コロナ感染 パンデミックに思う =

坂巻 (1971 年入学)

インド現地メーカーでの 4 日間の技術指導を終え、1 月 25 日タイ・バンコックで乗り継ぎをする際に空港内でマスク姿の人が異常に多いことに気づきました。今まで海外でマスク姿の人を見た経験がなく、また 1 週間前に往路での乗り継ぎでこの空港を使った際には、マスク姿の人を全く見なかったこともあり、『何か異変が起きているな』との印象を持ったことを覚えています。中国で新型コロナ感染が発生したことは知っておりましたが、当時は人から人への感染はないとされていたので頭の片隅にも残っていなかったのでしょう。

武漢の都市封鎖、チャーター便による武漢在留邦人の救出、ダイヤモンドプリンセス号での感染者の集団発生と事態は深刻さを増していきますが、どこか他人事のような気分でテレビの報道を見聞きし、まさかこれが我々の生活をこんなにも脅かすこととなるとは想像もしていませんでした。

やがて、コロナ感染の波は我々の身近に迫ることとなります。2 月中旬以降、北海道で感染者が相次いで見つかり、2 月末に『全国の小中学校等の臨時休校』の要請、3 月初に北海道



独自の『緊急事態宣言』が出され、3月末にはお笑いタレント『志村けん』さんの死亡報道により、このコロナ感染症の恐ろしさを身近に感じる事となりました。

その後、感染のスピードは一段と加速し、全国に蔓延することとなります。マスク、アルコール除菌液が店頭から姿を消し、各地でクラスター・院内感染が発生。医療用マスク・ガウン・人工呼吸器の不足も指摘され、まさに医療崩壊が起こるのではないかと大いに危惧されました。また、政府による『不要不急の外出の自粛』、『3蜜を避ける行動』が連日の様に叫ばれ、ついには全国的な『緊急事態宣言』が4月半ばに実施されることとなります。

一方で、私自身の生活の変化としては、定期的に通っていた室内プールが臨時休業となり運動不足に陥り、また外出自粛に伴い外へ出る機会がめっきりと減り、3月以降は公共交通機関を全く使用しておりません。飲み会も次々とキャンセルされ、2月以降は一滴のアルコールも口にしていない状況が半年も続いています。

技術指導に関してもインド政府によるビザ発給業務の停止・入国制限が発せられたかと思う間もなく、インドでの感染症が爆発的に発生している状況にある為、今後1年近くはインドへの渡航はできないものと覚悟しています。

文明の発展は人々の生活を豊かにし、その行動範囲を飛躍的に広げることに役立ちました。その一方で航空機の発達により、地球規模での移動時間の短縮が感染症の拡散を大いに助長することとなります。約100年前に発生したスペイン風邪が世界に広がるのにはおよそ半年を要したようですが、今回の新型コロナの場合にはわずか2か月で世界の至るところでその猛威を振るう事となります。人類が長い年月をかけて築き上げてきた社会システムがこの感染症に対しては、如何に脆弱なものであるかを痛切に思い知らされる機会となりました。しばらくの間はこの感染症と共生しながら、新しい生活スタイルを模索することが必要となるのでしょうか。一刻も早く新たな特效薬・ワクチンが開発され、いまままで通りの生活が戻ることを祈るばかりです。



疫病よけに効くとされる  
妖怪「アマビエ」

## ＝第6回都立大ラリーコース図復元記＝

山崎（1972年入学）

第6回都立大ラリーのコース図を復元してみた。きっかけは、本来であればこの時期は秋のドライブツアーに向けてコースプランを練り上げているときであったはずであるが、COVID-19によりドライブツアー自体が実施できるかどうか不透明であり、都県を跨ぐ外出自粛のため調査に向くこともままならずといった状況のためである。そうした中でドライブツアーに関する意見として、過去の都立大ラリーのコースを走ってみるのはどうかという提案があったことを思い出し、自動車部アーカイブスにあった「第6回都立大ラリーコース図」を元に当時(1972年/昭和47年)の

ースを現在走るとするとどのようなコース図に従って走ればよいかを考えてみることにした。復元のコース図並びに当時のコース図は OB 会 HP に掲載してあるので、参照されたい。

復元に当たっては当時のコース図(以下“元図”と記す。)のコマ地図地点をなるべく忠実にトレースすることとした。今日までの間に道路整備が進められたため、当時とは道路形状が異なっていたり、新たな道が建設されていたりといったことにより、今回の復元コース図では追加・削除したコマ図もある。

以下に復元に際して苦労した点や現在との違い、戸惑った点などを記してみたいと思う。なお以下(C??)で示した番号は今回の復元コース図の番号であり、[C??]は元図の番号である。

#### ・MCP から 2CP まで

元図は深沢校舎をスタート地点として首都高、京葉道路、国道 16 号線を経由して市原から内陸部へ入っていくコースであったが、今回は京葉道路 蘇我 IC を仮のスタート地点として設定した。市原埠頭入口交差点(C3)を左折してから MCP 地点へ向けて一旦 R297 を外れるのであるが、元図によれば[C16]以外は信号機も無く、交差する道路は未舗装であったりと当時は MCP を置くのに適した寂しい場所であったことがうかがわれる。

この後、R297 へ戻って南下し上総牛久から R409 へ入るのであるが、この上総牛久(C12)で悩むこととなった。元図[C21]では大きな左コーナーの途中から Y 字路を右折することとなっているが、現在のこの地点は斜め十字路である。これは古い地理院地図の調査から現在の R297 は C11 から C12 まで小湊鉄道に沿う形に付け替えられたことによるものと結論した。よって中途(C11)より旧国道へ入るコースとしている。

C13 から林道丹原線へ向かうが、元図[C23]によれば現在国道 409 号線となっているこの道もダートであったようで、途中に CP を置くことも領けるような道路状況であったらしい。この後の林道丹原線、音信山線共に現在は全面舗装されている(15 年ほど前に走ったことがある)。

#### ・2CP から鹿野山 再スタートまで

コースは小櫃から R410 を南下して上総松丘から右折して三島湖方面へ向かうが、当時は現在の R410 をすんなりと進むコースを辿っていない。地形図による道路形状及び距離の調査から元図[C32]から[C34]は復元図 C24 のとおりと判断したが、疑問なのはこの手前の C23 に該当する元図が無いことである。当時どうしてすんなりと C23 を直進せずに逆ト字路を道なりで進むことが出来たのか、疑問のままである。

コースは辻森(C25)から鹿野山登り口(C29)へと進むのであるが、元図ではこの間にコマ図は無く道なりであったらしい。この間にある東栗倉及び西栗倉の交差点の状況が当時どうであったか、本当に道なりで行けたのかが今回復元に際して最大の疑問点であった。

先ず東栗倉交差点についてだが、房総スカイラインについて調べると 1972 年当時はまだ着工もされておらず C26 の十字路を右折する道路は無かったと推察される。C26 地点は房総スカイラインの完成に伴って整備され、現在の形状となったと思われる。よって当時のコースは図-1 にあるように信号手前で左に逸れる道を進んだものと想像する。



図-1 C26 手前の元コースらしき脇道

次に西栗倉交差点についてであるが、C27 にある清和大橋も当時は存在していなかったらしい。正確に確認できなかったがストリートビューでは、竣工「昭和 49 年」と読み取れるようだ。よって当時のコースは清和大橋の 200m 下流にあった橋を渡る道を進んだらしく、これであれば、この後にこの地点を再度通過するときの元図[C42]とも形状がほぼ一致している。以上をまとめると当時のコースは図-2 の赤線で示したルートであったと推定している。但し、下流の橋からの道では西栗倉交差点は 90 度以下の曲がり角になっていて、これを本当に道なりで進めたのか気になるところである。



図-2 栗倉付近の推定される元コース

現在では鹿野山への登り口の台中交差点(C29)から 2.4km 先より土日休日は進入禁止となっている。よって C27 より迂回路を設定してある。

・鹿野山 再スタートから再び鹿野山、そして GOAL まで

当時は再スタート地点 (C31) [C39]よりダートであったらしいが、現在は勿論全面舗装の道路である。鹿野山を下ってから R465 で西栗倉へ再び戻り、今度は左折して市宿 (C36)より久留里方面へと進む。久留里で R410 に出るが当時の直進するコースは現在進入禁止となっているため、久留里駅前を迂回することとした。

約 20km の長いトランスポートを経て鴨川有料道路 (現在は無料開放)の手前より林道香木原線へ入る。当時は全線ダートの林道であったが現在は舗装されている。但し、ストリートビューで確認できないので幅員などは不明であるが、林道がそのまま舗装されたような道であったと記憶している。

三島湖から再び辻森を通過して 7CP があり、三回目の西栗倉交差点を左折して鹿野山への登りで 8CP、9CP マザー牧場で Finish となる。

鹿野山から佐貫町へ下って閉会式会場へと向うのであるが、元図には閉会式会場に関する情報が無く、これも悩んだ点の一つである。元図では閉会式会場から佐貫町へ戻って R127 へ

出るようになっていたため、佐貫町からあまり遠いところでは無いと考えられたが、それらしい場所を見つけ出せなかった。しかしアーカイブスに当時の記録写真があることを思い出し、調べてみると会場内部や外観が写っているものがあつた。これらから会場は固定座席のあるホールのようなところであり、結構大きな公民館などのようなものではないか思われた。検索の結果、富津市中央公民館(C51)が該当しそうであつた。位置も元図[C54]のとおりであり、復元コース図の概略図にあるように外観も当時の写真と一致している。

これで全コースの解明が終わり、復元コース図を完成させることが出来たのであるが、復元するに際して感じたことなどを最後に記しておきたい。

開催から48年を経過して市街化とそれに伴う道路の整備が進み、目標物が変わっていることは当初から想像できたが、林道入口などを除いてほとんど元図の目標物が残っていないことは時の経過を感じさせた。特に元図では7箇所でガソリンスタンドが目標物となっているが、残っているのは復元図C13の一箇所のみ(これも“丸善”ではなく“COSMO”)である。当時より車は何倍にも増えているはずだが、給油所がこんなに減ってしまつては地域の人々はどうしているのか心配になってくる。

また現在一例えばドライブツアーなどのコース図には必ずコンビニエンスストアが出てくるのだが、元図には全く無い。調べるとコンビニは1974年にセブンイレブン1号店が開店したとのことなので、元図に出てこないのは当然であつた。これからも時代が二つから三つぐらい違うことを感じる。

都県を跨ぐ移動が自粛を要請されている中でこのコースを走ってみようという人もいないと思うが、もし一部区間でも走って復元コース図の誤りなどに気付かれた方はご指摘を戴きたい。ちなみに仮スタートからGOALまで地図上で計測した距離は約193kmとなっている。

## ＝部活現状＝

平原（現役3年）

部活動に関してですが、大学から課外活動の許可は下りておりませんので4月から全く出来ていません。先日学生課より、後期から学生が大学に入構可能にすることを検討している、という通知がありました。部活動の再開も後期からになる可能性もあります。8月26日に部活動やサークルの代表と学生課でZoomを使った会議をする予定です。その際に学生課が今後の課外活動再開の方針を示すとのことでした。

また、今年度の府大戦は中止となりました。府大自動車部との繋がりを保つため、何らかの形で交流試合のようなものを実施したいと考えております。府大側とも連絡を取り合いながら進めていければと思います。

9月の合宿については、今年度は中止にすることを昨日の部会で決定致しました。本来であれば9月上旬に決定する予定でしたが、大学が夏季休業中に課外活動を許可するかどうか怪しいこと、数か月間ガレージが使えていないため現役部員の車両も整備が必要な状態であることなどを理由に中止とさせて頂きました。大学から活動許可が下りた段階で、合宿に代わる走

行会のようなものを開催したいと考えております。

## <編集後記>

編集担当 佐々木 (1968年入学)

コロナ騒ぎは相変わらず収束しそうにありません。まずは私たち自身が新型コロナウイルスに感染しないよう、万全の体制を整えて行動していくことだと思いますが、こんな時こそ自動車部OB&OG会におられる世代を超えた様々な分野の皆さんの、その時々のお智と感性をぶつけ合うことによって新しいものが生まれてくるのではないのでしょうか。会員の皆様の本音のご意見、ご感想、貴重な体験談等を、次号以降も「ているらんぷ誌上」にご紹介しながら一緒にこの難局を乗り越えていければ幸いです。